

平成 20 年 4 月 25 日

各 位

会社名 株式会社 小林 洋 行
代表者名 代表取締役社長 山下 英 樹
(コード番号 8742 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 宮崎 誠 二
(TEL 03-3664-3511)

平成 20 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 10 月 23 日付の「平成 20 年 3 月期中間速報値及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました通期の業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

なお、当社グループは通期の業績予想をレンジ形式で開示しておりますので、増減額及び増減率は予想レンジの下限で行っております。

記

1. 連結業績予想の修正

通期の業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 10 月 23 日発表)	7,564～ 6,564	△1,196～ △2,196	△1,197～ △1,997	△1,333～ △2,333
今回修正 (B)	5,638	△2,767	△2,634	△2,547
下限に対する増減額 (B-A)	△926	△571	△637	△214
下限の対する増減率 (%)	△14.1	—	—	—
(ご参考) 前期 (平成 19 年 3 月期) 実績	9,768	△815	△671	△1,271

2. 個別業績予想の修正

通期の業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 10 月 23 日発表)	2,692～ 1,692	△1,225～ △2,125	△1,117～ △2,017	△1,293～ △2,293
今回修正 (B)	1,598	△2,417	△2,275	△2,188
下限に対する増減額 (B-A)	94	△292	△258	105
下限に対する増減率 (%)	△5.5	—	—	—
(ご参考) 前期 (平成 19 年 3 月期) 実績	4,896	△809	△615	△1,115

3. 連結業績予想修正の理由

当社グループの企業収益の基盤である商品先物取引業界を取り巻く環境は、依然として市場の流動性（商品先物市場の売買高）が低下している状況が継続しており、当連結会計年度（平成19年4月から平成20年3月まで）の全国商品取引所の総売買高は142,141千枚（前年同期間比16.5%減）と引き続き低迷しております。このような個人投資家離れが顕著な環境に加えて、当社が商品取引所法の規定に基づく行政処分を受けたことやセミナーを中心とした営業方針への転換期であったことから受取手数料は大幅な減収となりました。

また、更なる経費の削減に努めてまいりましたが、受取手数料の落ち込みをカバーするまでには至っておりません。不採算部門からの撤退や支店の廃止を行うことで収益構造に見合ったコンパクトな経営組織を確立し、希望退職者の募集を行うなどして適正人員での営業活動に転換いたしました。これらの施策に対する本格的な経費削減効果が表れるのは平成21年3月期以降になると思われま。

以上のような理由により連結通期業績予想は、営業収益5,638百万円、営業損失2,767百万円、経常損失2,634百万円、当期純損失2,547百万円となる見込みであります。

4. 個別業績予想修正の理由

上記に記載した連結業績予想の修正理由によって、営業収益1,598百万円、営業損失2,417百万円、経常損失2,275百万円、当期純損失2,188百万円となる見込みであります。

(注) 上記に記載した内容は、現在集計中の資料に基づいて作成したものであり、後日開示する通期業績と異なる場合がありますので、ご了承下さい。また、上記に記載した内容は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上